



るく 皇女和宮と呂久の渡し

1 / 7

年号	世紀	年齢	事項 (数字は月)
弘化3	1846	1	仁孝天皇の第8皇女として誕生 (5)
嘉永4	1851	6	有栖川宮熾仁親王と婚約 (7)
	6	1853	8 ペリー来航 (6)
安政1	1854	9	日米和親条約調印 (3)
	4	1857	12 和宮の外祖父 橋本実久死去 (1)
	5	1858	13 井伊直弼大老に就任 (4) 日米友好通商条約調印 (6) 長野主膳 皇女降嫁を献策 (9) 安政の大獄起こる (9) 徳川家茂第14代将軍となる (10)
万延1	1860	15	桜田門外の変 (3) 幕府 和宮降嫁を請願 (6・7・8)
文久1	1861	16	和宮降嫁を承諾し希望条件を申し入れる (10) 幕府正式に降嫁を奏請 降嫁勅許 (12) 首都の儀・祇園社参詣 (10) 和宮江戸到着 (11)
	2	1862	17 坂下門の変 (1) 和宮・家茂と婚儀 (4) 伏見寺田事件 (4) 生麦事件 (8) 高杉晋作らイギリス公使館を襲撃 (12)
	3	1863	18 家茂上洛 (2) 公武合体派、攘夷派を追放 (8)
元治1	1864	19	池田屋事件 (6) 蛤御門の変 (7)
慶応1	1865	20	和宮の生母 観行院死去
	2	1866	21 薩長同盟成る (1) 第2次長州征伐開戦 (6) 家茂死去 (7) 慶喜第15代将軍に成る (12) 和宮静観院宮と称す (12) 孝明天皇崩御 (12)
	3	1867	22 討幕の密勅降下・大政奉還 (10)
明治1	1868	23	鳥羽伏見の戦 (1) 和宮 官軍の江戸進撃猪子など先鋒総督に嘆願 (3) 官軍江戸城接收 (4) 江戸を東京と改称 (7)
	2	1869	24 和宮上洛 (1)
	7	1874	29 和宮 東京麻布邸に入る (7)
	10	1877	32 西南戦争起こる (2) 和宮 塔之沢で死去 (9)



和宮様は、弘化3(1846)、
仁孝天皇の皇女として誕生
され、6歳のときに
たるひと
有栖川熾仁親王と結婚の
内約を結ばれていました。



るく 皇女和宮と呂久の渡し

2/7

年号	世紀	年齢	事項 (数字は月)
弘化3	1846	1	仁孝天皇の第8皇女として誕生 (5)
嘉永4	1851	6	有栖川宮熾仁親王と婚約 (7)
6	1853	8	ペリー来航 (6)
安政1	1854	9	日米和親条約調印 (3)
4	1857	12	和宮の外祖父 橋本実久死去 (1)
5	1858	13	井伊直弼大老に就任 (4) 日米友好通商条約調印 (6) 長野主膳 皇女降嫁を献策 (9) 安政の大獄起こる (9) 徳川家茂第14代将軍となる (10)
万延1	1860	15	桜田門外の変 (3) 幕府 和宮降嫁を請願 (6・7・8)
文久1	1861	16	和宮降嫁を承諾し希望条件を申し入れる (10) 幕府正式に降嫁を奏請 降嫁勅許 (12) 首都の儀・祇園社参詣 (10) 和宮江戸到着 (11)
2	1862	17	坂下門の変 (1) 和宮・家茂と婚儀 (4) 伏見寺田事件 (4) 生麦事件 (8) 高杉晋作らイギリス公使館を襲撃 (12)
3	1863	18	家茂上洛 (2) 公武合体派、攘夷派を追放 (8)
元治1	1864	19	池田屋事件 (6) 蛤御門の変 (7)
慶応1	1865	20	和宮の生母 観行院死去
2	1866	21	薩長同盟成る (1) 第2次長州征伐開戦 (6) 家茂死去 (7) 慶喜第15代将軍に成る (12) 和宮静観院宮と称す (12) 孝明天皇崩御 (12)
3	1867	22	討幕の密勅降下・大政奉還 (10)
明治1	1868	23	鳥羽伏見の戦 (1) 和宮 官軍の江戸進撃猶予など先鋒総督に嘆願 (3) 官軍江戸城接收 (4) 江戸を東京と改称 (7)
2	1869	24	和宮上洛 (1)
7	1874	29	和宮 東京麻布邸に入る (7)
10	1877	32	西南戦争起こる (2) 和宮 塔之沢で死去 (9)



世情が不安定になり、諸外国から通商を迫られて対応に苦慮していた幕府は、朝廷との一体融和により難局を乗り越えようと、和宮様の降嫁を進めました。



皇女和宮と呂久の渡し

3/7

年号	世紀	年齢	事項 (数字は月)
弘化3	1846	1	仁孝天皇の第8皇女として誕生 (5)
嘉永4	1851	6	有栖川宮熾仁親王と婚約 (7)
6	1853	8	ペリー来航 (6)
安政1	1854	9	日米和親条約調印 (3)
4	1857	12	和宮の外祖父 橋本実久死去 (1)
5	1858	13	井伊直弼大老に就任 (4) 日米友好通商条約調印 (6) 長野主膳 皇女降嫁を献策 (9) 安政の大獄起こる (9) 徳川家茂第14代将軍となる (10)
万延1	1860	15	桜田門外の変 (3) 幕府 和宮降嫁を請願 (6・7・8)
文久1	1861	16	和宮降嫁を承諾し希望条件を申し入れる (10) 幕府正式に降嫁を奏請 降嫁勅許 (12) 首都の儀・祇園社参詣 (10) 和宮江戸到着 (11)
2	1862	17	坂下門の変 (1) 和宮・家茂と婚儀 (4) 伏見寺田事件 (4) 生麦事件 (8) 高杉晋作らイギリス公使館を襲撃 (12)
3	1863	18	家茂上洛 (2) 公武合体派、攘夷派を追放 (8)
元治1	1864	19	池田屋事件 (6) 蛤御門の変 (7)
慶応1	1865	20	和宮の生母 観行院死去
2	1866	21	薩長同盟成る (1) 第2次長州征伐開戦 (6) 家茂死去 (7) 慶喜第15代将軍に成る (12) 和宮静観院宮と称す (12) 孝明天皇崩御 (12)
3	1867	22	討幕の密勅降下・大政奉還 (10)
明治1	1868	23	鳥羽伏見の戦 (1) 和宮 官軍の江戸進撃猶予など先鋒総督に嘆願 (3) 官軍江戸城接收 (4) 江戸を東京と改称 (7)
2	1869	24	和宮上洛 (1)
7	1874	29	和宮 東京麻布邸に入る (7)
10	1877	32	西南戦争起こる (2) 和宮 塔之沢で死去 (9)

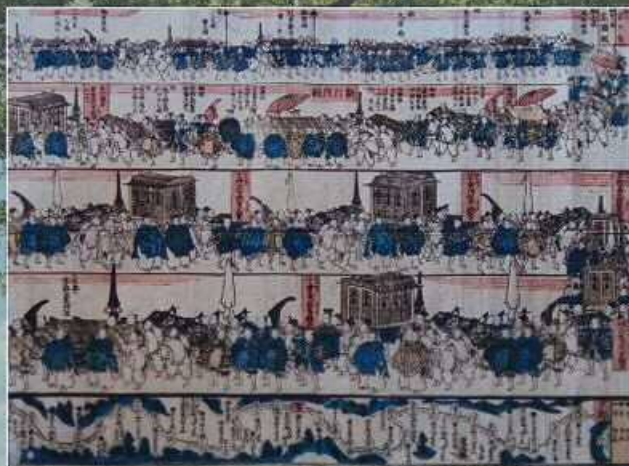


時の孝明天皇は、降嫁を憂慮されていましたが、安政の大獄・桜田門の変など、次々と続く時局の困難のためやむなく承諾され、和宮様も悲壮な決意のもと受諾されました。
万延元年 (1860) 10月のことです。



るく 皇女和宮と呂久の渡し

4 / 7



翌、文久元年（1861）10月20日、
京都を御出発された和宮の嫁入り行列は、
古今未曾有の盛大なものでした。
金紋先箱きんもんさきばこを先頭に、警護の武士団や
色鮮やかな装束の宮様の絢爛豪華な
総勢2万人を超える大行列えんえんが蜘蛛くまと
続きました。

行列は江戸幕府の延命をかけるもので、京都から江戸までの中山道を改修するとともに、
厳重な警備と警護を手配しました。道固めする藩が29、御輿を警護する藩は12ありました。
大垣藩は赤坂宿あかざかから鶴沼宿つるぬままでを、およそ500人の武装した兵士団で警護に当たり、
道固めは、垂井宿から美江寺宿の間に21か所設け、呂久村付近では3か所、それぞれに
40人程の武装兵士が警備にあたりました。



ろく 皇女和宮と呂久の渡し

5/7

「五海道其外延絵図中山道巻第9」東京国立博物館所蔵



小簾紅園内のもみじ



和宮が実際に愛でたもみじ

26日、赤坂宿を出られ、柳原に到着された宮様は、臨時の船乗り場から大垣藩が用意した御座船に乗られました。

美しく飾った御船の玉簾たますだれの中から四方の景色を眺められた宮様は、対岸の馬淵孫右衛門まごえもんの庭に美しく茂り紅葉している楓を目にとめられ、ご感慨をお詠いになり、やがて呂久にお着きになりました。



ろく 皇女和宮と呂久の渡し

6/7



歌が刻まれている主碑

です。

おちてゆく 身と知りながら もみぢ葉の
人なつかしく こがれこそすれ

その歌が



ろく 皇女和宮と呂久の渡し

東京都江戸東京博物館所蔵「和宮江戸下向絵巻」

7
17



この渡船の様子が、江戸下向行列絵巻「美濃呂久川の観楓^{かんぶつ}」として
東京都江戸東京博物館に所蔵されています。

渡船後、馬淵孫右衛門家で小休憩され、美江寺でご休憩、河渡宿でご昼食をとられ、
加納宿でお泊りになりました。江戸まで25日かかり、11月15日に江戸に到着され、
14代将軍家茂の夫人となりました。時に、将軍家茂、和宮とも同い年の16歳でした。